

中小企業支援

写真もアートも繊細に表現

—繊維用インクジェットプリンタによる布への多色プリント—

● 繊維用インクジェットプリンタとは

繊維用インクジェットプリンタは、コンピュータで作成された図柄を直接布上に描くデジタル機器で、紙用のインクジェットプリンタと同様に、C・M・Y・K※1の4色を基本とする染料または顔料の微細な粒を、布地の表面に吹き付けることにより色柄を表します。

従来の型版を用いたプリントでは難しかった、写真や絵画のような色数の大変多い画像、滑らかなグラデーションなどがきれいに表現できることや、型版を用いないために製版などに関わるコストや時間を削減できることなどが大きな特徴で、新たなプリント技法の一つとして、ディスプレイ用途などを中心に徐々に広がっています。

※1 C・M・Y・K

印刷の基本カラー。C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)、K(ブラック)。4色では淡い色の表現にドットが目立つ場合があることから、最近では薄い色を加えて6色や8色など色数の多い機種もあります。

● インテリアから舞台衣装まで

アズマ・ファブリックプリント(☎042-651-9463 ホームページ <http://www.e-azuma.co.jp>)では、早くから繊維用インクジェットプリンタを導入し、表現の可能性を追求してきました。

そして、これまでに展示会などのディスプレイやバナー、オブジェ、服地やネクタイなどのアパレル、の

れんなどのインテリアから舞台衣装にいたるまで、専門工房として多くの製品を手がけており、都産技研では、技術相談をもとに様々なデザインの開発を担当してきました。(図1～4)

● 特徴を最大に活かしたデザイン

インクジェットプリンタでは、多色の表現が大きなポイントとなります。

同社のデザインでも、カラフルな写真、微妙な色合いを持つ印象派のような絵画、3D画像に見られるようなコンピュータ独特のバーチャル画像など、従来のプリントにない表現を効果的に取り入れることにより、デザインバリエーションを拡大し、表現の可能性を探ってきました。

今後、その機動性を活かし、オーダーへのきめ細かな対応による生産が、さらに様々な製品への展開に結びついていくものと思われます。

都産技研では、こうした様々なデザイン表現、企画などに関する技術相談や依頼のお問い合わせをお待ちしております。

事業化支援部 <八王子支所>

藤田 茂 TEL 042-642-2778

E-mail : fujita.shigeru@iri-tokyo.jp



図1 様々な試作デザイン



図2 ネクタイ



図3 舞台衣装

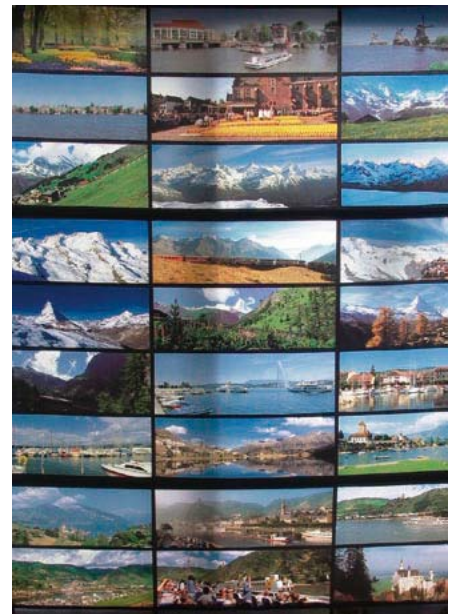


図4 スライド風のスクリーン